

詩集・音楽書 ご担当者さま

エランド・プレス新刊案内 2015年12月7日発売

現代の吟遊詩人・前野健太による初の全曲弾き語りアルバム、緊急リリース!!

Errand Press Music Book 01

今の時代がいちばんいいよ

前野健太・歌と演奏

四六変形／CD（11曲入り）＋歌詞集16ページ 定価：本体1,680円＋税



日本社会の急変を告げる鐘声鳴りやまぬ、2015年。その締めくくりに贈る、私たちの生活の歌。はたして100年後の私たちは、私たちに、この何げない毎日に、思いを馳せることがあるだろうか？

曲目（[*] = 新曲）

01. だれかの
02. 今の時代がいちばんいいよ [*]
03. SHINJUKU AVENUE [*]
04. このからだ
05. 100年後
06. 新幹線の速さで毎日は [*]
07. 私の怒りとは
08. 東京の空
09. コーヒーブルース
10. 野蛮なふりをして [*]
11. 吾郎 [*]

すべて弾き語りによる新録音11曲。プロデュースは九龍ジョー、マスタリングは中村宗一郎（ピース・ミュージック）が手がける。ジャケットは写真家・石川直樹による撮り下ろし、デザインは惣田紗希が担当。

また、10曲目は、東京都現代美術館の「“TOKYO”－見えない都市を見せる」展（2016年2月14日まで開催）に映画監督・松江哲明が出品中の新作『その昔こころへんは東京と呼ばれていたらしい』の主題歌となる。

●前野健太

1979年生まれ、埼玉県出身。シンガーソングライター。2007年に自主レーベルよりアルバム『ロマンスカー』をリリースし、デビュー。2009年、ライブドキュメンタリー映画『ライブテップ』（監督：松江哲明）で主演を務める。同作は第22回東京国際映画祭の「ある視点部門」でグランプリを受賞。2011年にも同監督の映画『トーキョードリフター』で主演を務める。同年、第14回みうらじゅん賞を受賞。近年はフジロックフェスティバルをはじめ大型フェスへの出演や、演劇作品への楽曲提供、文芸誌でのエッセイ連載、小説執筆など、活動の幅を広げている。アルバム最新作はジム・オルークをプロデューサーに招いた『ハッピーランチ』（2013年）。2014年にはライブアルバム『LIVE with SOAPLANDERS 2013-2014』も発表している。

注文 申込書	貴店名・帖合	注文数	エランド・プレス 電話&FAX：03-5989-1074
			Errand Press Music Book 01
			今の時代がいちばんいいよ
			前野健太・歌と演奏 四六変形／CD（11曲入り）＋歌詞集16ページ 定価：本体1,680円＋税
		冊	ISBN978-4-908440-03-8 C0892 ¥1680E

ご注文は JRC へ→ FAX：03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い